

観光の公共的価値と 離島コミュニティに ついて調査

国際地域創造学部 教授

越智 正樹 OCHI Masaki

〔略 歴〕 2000年 京都大学総合人間学部自然環境学科生物・地球圏環境論講座 卒業
2011年 京都大学大学院農学研究科生物資源経済学専攻博士後期課程 修了
〔専門分野〕 観光社会学、地域社会学、農村社会学

観光と地域の関係、 地域社会の在り方を考える

私がこれまで行ってきた研究は、大きく分けると2つの方向があります。ひとつは観光と地域社会との関係についての研究です。観光立県、観光立国などよく言われますが、ではどのような観光が地域への公共的価値を持つのか。例えば農村部の民泊や、「那覇まぢま〜い」のようなまち歩き観光など、一般市民がホストとなり参加するタイプの観光には、経済的だけでなく公共的価値がどれほどあるのか。実態調査と類型化により、考察を深めてきました。もうひとつは観光に限らず、地域社会やコミュニティそのものの在り方についての研究です。最近では、ある離島に関係する島内外のコミュニティについて、いわゆる空き家問題と絡めて調査研究を行いました。そのためあちこちに出向き、綿密な計画に基づくインタビュー調査や資料収集を重ねました。地域には、数値的な尺度のみでは測り切れない社会的価値や認識構造があります。地域とは何か、空き家とは何かを根本から考察して、当事者の認識構造に沿ったアプローチの仕方を提言しました。

客観的な立場から真理と正義を追究し 公正でより良い社会に

学問の基本は真理の追究ですが、社会学はさらに、正義の追究も同じくらい大切にしています。ここでいう正義とは、社会を形づくる規範と公正さのことです。どういう観光だったら地域をよりよく形づくるか。とりあえず観光振興してから地域への波及を考えるのではなく、「良き社会」の構想が先にあって、その中であるべき観光の姿を考える。そんな研究をしています。